

# 建設経済常任委員会

委員長 中川庄一

平成28年度南相馬市一般会計予算について

**質疑** 青年就農給付金事業について。事業内容及び対象者、新規就農分野での定住・定着のための住宅確保に対する支援等について伺う。

**答弁** 新規に就農した方が、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間最大150万円を給付する事業である。給付条件として、独立・就農時の年齢が45才未満であること。住宅の支援も重要であり、今後検討していく。

**質疑** ロボット導入促進事業補助金について。マッスルスーツが介護分野や農業分野などで人手不足の解消につながる可能性もあり、PR等についての考えを伺う。

**答弁** 福祉部門と調整をしながら、介護福祉の現場などにマッスルスーツの導

入を促進するためにも、説明会等でPRを行っていく。また、人手不足解消についても対応していく。

**質疑** ふるさと回帰支援センターには、全国から市内に移住・定住を考えている方が、様々な目的を持って来ることが考えられる。補助メニューを即座に紹介できる対応が必要であるが、今後の対応策について伺う。

**答弁** 市として、移住・定住については、さらに充実したものにしていく。組織改編も含めて、経済部だけでなく復興企画部とともにワンランク上がった形で対応していく。医療福祉・住宅問題・雇用問題と様々なニーズがあり、移住・定住専門の部署についても検討していく。

**質疑** 維持管理一般経費の中で、今回購入するモーターグレーダーの用途について伺う。

**答弁** 鹿島区に設置され

いて伺う。

**答弁** 一昨年の豪雪により、市の除雪体制について指摘を受け、除雪に対する備えについては、業者に委託はしているものの、市単独でも考慮すべきと考え購入に至った。市道には砂利道もあり、除雪専用ということではなく、敷き砂利等にも有効に活用していく。

**質疑** 小高区の、街路灯40基が防犯灯に切り替わる。経緯について伺う。

**答弁** 小高区では、141基の街路灯が設置されており、地区住民主体の組織が運営を行っていた。今後、運営が困難になることから、一部は商工会へ移管し、街路灯整備事業補助金を活用し修繕やLED化を進める。駅前通りから外れる街路灯40基は、防犯の効果もあるため、市で管理すべきと判断した。古い街路灯は撤去し、防犯灯として建替えることとした。

**質疑** 小高スマートインタージェンジの今後の工程及び予算について伺う。

**答弁** 鹿島区に設置され

たスマートインタージェンジ建設の経過をみると、立ち上げから供用開始、開通まで7年間を要しており、同程度の年月がかかる見込み。予算については、楢葉町の設置を基に試算し、市の持出しは2億円程度と見込んでいます。

**質疑** 就業等人材確保住宅整備事業について。住宅需要の考え方や、事業を立ち上げる経緯について伺う。

**答弁** 各企業に住宅の需要を調査したところ145戸あり、今後も住宅不足は続くこと判断。除染等の作業の終了や避難指示解除に伴い、どの程度空きが出るのか、概ね5年間の住宅需要を試算した。戸数については30戸程度で検討を進めている。事業者から直接支払いを受ける契約を結んでいく。審査の結果、原案通り可決。

南相馬市中小企業支援仮設施設整備事業に係る仮設施設の無償貸付及び譲渡に関する条例制定について

**質疑** 仮設施設完成から1年後に市に譲渡される

が、これまでの実績を伺う。

**答弁** 中小機構より市に譲渡された日は平成24年3月30日。その後、順次市に譲渡されてきた。市から事業者への譲渡はないが、それを可能とする為に、今回条例を定める。

審査の結果、原案通り可決。



今後譲渡される仮設施設（信田沢工業団地）

南相馬市宅地造成事業特別会計予算について

**質疑** 分譲実施見込み時期及び公募時期を伺う。

**答弁** 本年12月25日に完成する見込み。販売時期については平成29年1月からと考えている。審査の結果、原案通り可決。

# 一般質問 一問一答



渡部 一夫 議員

## 安全・安心を求めて

れたと思う。しかし、

**問** 東日本大震災による地震、津波は自然災害である。そこに福島第一原発がなかったら、今回の放射能被害は起こらなかったと思われるが、どのような見解が伺う。

**答** 原発が、地震・津波によってダメージを受けなければ原発事故は起きず、放射能による原子力災害は起きなかつたと考えられる。

**問** 福島第一原発をつくるには、安全安心であることが強調され、原発事故や放射能被害についての心配や不安は一扫されてきたと思う。見解を伺う。

**答** その際に、今回犠牲になった方々も含めて、いかなる津波災害に対しても耐え得るといふような説明を受けた話も聞いている。それだけ安全性は強調さ



家屋解体仮置き場 (小高区)

**問** 二〇二二年三月十一日以前の自然豊かな元暮らしがしたい、人間らしい生活がしたいということは、法外な

要望なのか、見解を伺う。

**答** 三月十一日震災前の生活に、また環境に戻して欲しいということとは、市民の本当の率直な願いであり、私も当然の要望だと考えている。

### 質問を終えて

震災・原発事故から六年目を迎えますが、まちづくりには心の復興が必要です。

#### その他の質問

- 1 不平等格差解消と改正労働法の取組み
- 2 心の復興と治安の改善
- 3 障がい者差別解消法と雇用促進



水井 清光 議員

## 市の再興と発展へひと育成

る。近年の当市の農業

**問** 農業における人材育成について。本市の基幹産業である農業については、担い手となる農業者の確保・育成が重要であると考えが対応を伺う。

**答** 市としては、経営感覚や生産技術にすぐれた人材の確保と育成に向け、南相馬農業復興チャレンジ塾を開催している。また、農業チャレンジマッチング事業において農業機械等の操作技術を含めた高い生産性を確保する知識・技術の向上のために支援等を行う考えである。

**問** 技術力を高め、機械力を向上させるとのことであるが、問題は人材の確保。対応策について伺う。

**答** 人材確保は、全ての産業において非常に重要な案件だと考え



作付準備中の水田 (太田地区)

に従事したいという方も相当数いると考えている。本市としては、市外の方で農業に関心のある方等も引き込み

ながら、農業再興と担い手育成に当たっていく。  
**問** 南相馬市に移住を促すための情報発信は。  
**答** 南相馬市のPRを続けている。さまざまな産業の人材確保に当たる。

### 質問を終えて

南相馬市民の復興への意識の向上と他地域への正しい情報発信が最重要課題である。

#### その他の質問

- 1 林業の振興、特に里山除染について
- 2 介護職員の確保と、賃金水準の向上
- 3 浜通り地域の技術革新による発展について